

Turning
旋盤

ものづくりの立役者、工作機械の代表選手！

代表的な工作機械として挙げられるのが、ものづくりの立役者である「旋盤」と「フライス盤」。品物や製品には、丸い物と角形物が組み合わせられたものがたくさんありますが、丸い形状の物は旋盤によって作られ、角形の形状の物はフライス盤によって作られています。ものづくりは「段取り(準備)」から始まり、どのような順番でどのように加工するかを考えて、準備から完成までを何度もシミュレーションし、最高の製品を作り上げていくものです。

チャック
ハンドルダイヤル
ゲージ

前回大会金メダリストからメッセージ！

所属：沖縄職業能力開発大学校

宮里政翔さん

これだけ練習したから大丈夫と自信を持っていただければいい結果につながると思うので、頑張ってください！

手作業による
旋盤加工最大の見せ場は
手際よく作業すること！
短時間での高精度の加工！

選手に与えられる素材は「炭素鋼」という鉄と炭素が合わさったものです。その硬い材料を削るものを「バイト」といいます。バイトは、ダイヤモンドと同じくらいの硬さのものもあります。競技課題として取り組む内容は、「外削り」「内削り」「テーパ削り(円すい状に加工)」「ねじ切り」「溝削り」「ローレット加工(表面をギザギザにさせる)」などがあり、いかに手際よく、高精度に加工するかが最大の見せ場です！

古賀俊彦主査
職業能力開発総合大学校

旋盤